

科目名		ソフトウェア活用		使用教科書	ソフトウェア活用(実教出版)	
単位数	2	履修学年	3年	学習書	情報処理検定 パスポート 2級 ビジネス情報編(東京法令出版) ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集 2級(実教出版)	
科目の目標				評価の観点と評価規準		評価方法
(1)企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2)企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 ○全国商業高等学校協会主催 情報処理検定 2級 (ビジネス情報)・ビジネス文書実務検定試験 2級				知識・技能	定期試験の「知識・技能」を問う問題にて判断。	試験(2回)
				思考・判断・表現	定期試験の「思考・判断・表現」を問う問題にて判断。	試験(2回)
				主体的に学習に取り組む態度	出席状況と定期試験の結果より総合的に判断。	試験(2回)・出席状況
月	編・章	学習項目	概要		教科書	
4	1章 (1節)	ビジネスにおけるソフトウェアの活用	ソフトウェアの活用と目的		p.6-10	
			ネット通信ビジネスにおけるソフトウェア活用		p.11-13	
	4章 (1節)	ビジネスとデータベース	身近なデータベースの活用と重要性 ・ データベースとは		p.128-129	
			表計算ソフトウェアとの比較 ・ データベースソフトウェアの機能と役割		p.130-132	
5	1章 (1節)	ビジネスにおけるソフトウェアの活用	観光ビジネスにおけるソフトウェアの活用		p.14-15	
			センシング技術とソフトウェアの活用		p.16-17	
	4章 (2節)	データベースの作成と操作	データベースの作成 ・ テーブルの作成とデータの入力 ・ インポート・エクスポート		p.133-137	
			リレーションシップ ・ クエリの作成・種類 ・ データの検索機能		p.138-149	
6	1章 (2節)	ビジネスにおけるソフトウェアの進化	Society5.0で実現する社会		p.18	
			AIを活用した社会の変化		p.19-20	
	4章 (3節)	手続きの自動化	ユーザフォームの作成		p.160	
			クエリの実行・フォームの表示・レポートの表示		p.160	
7	2章 (1節)	情報通信ネットワークの導入と運用	ネットワークの構成とハードウェア		p.24-29	
			ネットワークの利用とソフトウェア		p.30-33	
	4章 (4節)	データベースの構造	基本表と仮想表		p.164-166	
			データの正規化		p.167-169	
8	2章 (2節)	情報資産の保護	リスクの管理 ・ アクセスの管理		p.42-45	
			ファイルサーバの管理 ・ 認証サーバの管理		p.46-50	
	4章 (5節)	SQLの操作	SQL		p.170	
			SQLの基本操作		p.171-179	
9	2章 (2節)	情報資産の保護	データの保護		p.51-54	
			セキュリティポリシーの管理		p.55-57	
	5章 (1節)	グループウェアの活用	グループウェアの概要と導入のメリット		p.182-183	
			グループウェアの実例と活用実習		p.184-187	
10	3章 (1節)	表計算ソフトウェアを用いた情報の収集と分析	統計の基礎		p.60-63	
			情報の集計		p.64-75	
	5章 (2節)	販売管理ソフトウェアの活用	販売管理ソフトウェアの概要と導入のメリット		p.188-189	
			販売管理ソフトウェアの実例と活用実習		p.190-193	
11	3章 (1節)	表計算ソフトウェアを用いた情報の収集と分析	情報の分析		p.76-89	
			シミュレーション		p.90-93	
	5章 (3節)	給与計算ソフトウェアの活用	給与計算ソフトウェアの概要と導入のメリット		p.194-197	
			給与計算ソフトウェアの実例と活用実習		p.198-201	
12	3章 (2節)	表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ	在庫管理 ・ 回帰分析を用いた売上分析 ・ 日程管理		p.94-107	
			線形計画法 ・ 待ち行列 ・ ゲーム理論		p.108-117	
	6章 (1節)	システム開発の基礎	システム開発の概要 ・ ソフトウェア開発モデル		p.204-207	
			開発プロセスフレームワーク		p.208	
1	3章 (3節)	手続きの自動化	手続きの記録と実行		p.118-121	
			マクロの登録 ・ 相対参照で記録		p.122-124	
	6章 (1節)	システム開発の基礎	ソフトウェア開発手法		p.209-210	
			インタフェース設計 ・ テストと保守		p.211-214	
2			アルゴリズムと流れ図		p.216-220	
	6章 (2節)	アルゴリズムの基礎	アルゴリズムの基本設計		p.221-229	
			さまざまなアルゴリズム		p.230-243	